



2024-2025 年度

国際ロータリー会長 / ステファニー・アーチック 会長 / 来間 久 副会長 / 土江 光二
 2690地区ガバナー / 榊原 敬 幹事 / 原 伸雄 会計 / 小汀 泰之

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F
 TEL : 0853-63-3232 / FAX : 63-5365

URL : <http://hirata-rotary.jp/> Mail : office@hirata-rotary.jp

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝日 休局)

■ 例会プログラム ■

	卓話者	演題
5月22日	地区クラブ活性化ワークショップ 出席者	地区クラブ活性化 ワークショップ報告
5月29日	西代町 出雲トレーニングセンター	職場訪問例会
6月5日	会員増強会員維持委員会	夜間例会 18:30~ 親睦趣味の会 (囲碁・お茶・ゴルフ・麻雀)
6月12日	会員 安食洋平	新会員スピーチ
6月19日	会長 来間 久	夜間例会 18:30~ 一年を振り返って

■ 出席報告 ■

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
38	31	7	81.58

■ 欠席者 ■

安食賢・石原・神田・木村・小汀・大國・園山

■ 来訪者 ■

朝山(出雲中央)

5/15 小川・園山・竹内・山根(出雲南) 山根(大社)

■ メークアップ ■

5/18 土江・三好・大谷・来間(クラブ活性化ワークショップ 米子)

■ 次回会受付当番 ■

(5月29日) 安食洋平 / 大島卓爾 / 大谷厚郎

(6月5日) 多久和優美 / 大谷良治 / 太田哲也

■ 近隣クラブ例会情報(メークアップを考えましょう) ■

月	出雲中央 6/23 6/9・30(-)	松江南 6/23・30
火	出雲 6/17 6/24(-)	松江しんじ湖 6/17・24
水	大社 6/4・18 6/25(-)	松江 6/18 6/25(-)
木	(-) ; ビジター受付なし	松江東 6/19 6/26(-)
金	出雲南 5/23 6/20 5/30・6/30(-)	

■ 会長挨拶 ■

本日のお客様は、出雲中央 RC の朝山一玄さんです。朝山さんは、地区 2690 米山記念奨学委員会の委員をお務めで、米山記念奨学生の世話クラブの調整をしていただきました。そして、米山記念奨学生の段安苗(ダン アンミョウ)さんです。4月から9月までの間、平田 RC が世話クラブとして、清原カンセンターを中心にサポートしてまいります。半年という短い期間ではありますが、親睦を深めていければと思っております。

この2週間で、ロータリーの事業に5つ参加いたしました。① 5/13(火)次年度委員長会。② 5/14(水)LAにて開催の規定審議会に参加された松本パストガバナーによる報告会が、Zoomにて開催。人頭負担金の値上げが決定されています。③ 5/17(土)江津 RC の創立 60 周年記念式典に参加しました。人口約 21,000 人の市でありながら、会員数が 42 名と、会員増強に積極的に取り組んでいらっしゃる様子に感銘を受けました。④ 5/18(日)米子

にて「クラブ活性化ワークショップ」が開催されました。内容については、例行事務にて報告があります。⑤ 5/20(火)平田クラブの新入会員セミナーが開催されました。情報・雑誌委員会の加藤委員長をはじめ、委員会の皆さま、運営ありがとうございました。4名の新入会員対象者にご出席いただき、「ロータリーとは?」「奉仕とは?」というテーマで約30分、小汀会員よりお話しいただきました。

私ごとで恐縮ですが、最近「東急グループ」について学ぶ機会がありました。東急グループは、1922年に設立の「目黒蒲田電鉄株式会社」に始まり、2025年3月31日現在、東急株式会社(旧:東京急行電鉄株式会社)を中核とした214社・7法人からなる企業グループです。このグループの礎を築いた方々は、「鉄道を基盤とした理想の田園都市」を構想し、まちづくりと企業づくりに尽力されてきました。渋沢栄一氏も理想の「田園都市」を構想し、事業に関わっておられました。そして、五島慶太氏が東急グループの実質的な創立者とされています。

グループ内の学校法人や財団などを通じて、地域社会に根ざした社会貢献活動にも積極的に取り組んでおられ、特に次世代育成に力を入れておられます。一例として「とうきゅうキッズプログラム」という取り組みをされています。「夢を見るのが、ボクらの仕事。」というテーマのもと、小学生のお子さまとその保護者を対象に、職業体験や施設見学、ものづくりなどにチャレンジする体験型イベントです。2007年より開始されています。このプログラムは、各事業所の特色を活かした体験メニューが提供され、例えば【東急テクノシステム】運転手体験、【東急レクレーション】声優体験、【横浜ベイホテル】プライダトル体験、【五島美術館】学芸員体験などがあります。私たちの奉仕事業を考える上で、大いに参考になる取り組みだと思い、ご紹介させていただきました。

米山奨学生 段 安苗(ダン アンミョウ)さん来訪



■ ■ ■ 幹事報告 ■ ■ ■

1. 例会変更

○ 大社 RC 6/4(水) 6:30 ~ 早朝座禅例会 会場:神光寺
6/18(水) 18:30 ~ 最終例会 会場:ゆたか亭
ビジター受付 11:30 ~ 12:30 事務局

2. 休 会

○ 大社 RC 6/25(水) 定款による ビジター受付 なし

3. 第5回地区行動計画推進リーダー研修(オンライン)開催のご案内

6月12日(木)午後4:00より5:30

会長・会長エレクト・会長ノミー・クラブ行動計画推進リーダー
出席致します。

4. 5RC会長幹事会開催(出雲中央RCホスト)について

日 時 6月13日(金)18:30~

場 所 海山 出雲市今市町596 TEL 23-2000

小汀泰之 G 補佐・神田慎一グループ幹事

来間 久会長・原 伸雄幹事 出席致します。

5. 次年度会員名簿(手帳)作成にあたり、今年度名簿に変更のある方は事務局までご連絡下さい。

■ ■ ■ 理事会決定事項 ■ ■ ■

地区よりミャンマー地震救援金のお願いがまいりました。

従来お一人1,000円の義援金協力をお願いしておりましたが、今後海外の災害支援につきましては募金箱を設置し、任意といたします。

■ ■ ■ 委員会報告 ■ ■ ■

職業奉仕委員会：次週5/29開催の職場訪問例会について

西代町 IZUMO トレーニングセンター 12:30 ~

情報雑誌委員会：5/20開催の新会員セミナー報告

■ ■ ■ スマイル ■ ■ ■

朝山(出雲中央)

(今年度米山記念奨学生 段 安苗さんの世話クラブをお引き受けいただきありがとうございます。よろしくお願ひいたします。)

来間(梅雨のような天候となっておりますね。このあたりは6/6頃がつゆ入り予定です。あじさいの季節ですね。段 安苗さん平田 RC へようこそ…。半年どうぞよろしくお願ひします。)

原伸(朝山様、ようこそいらっしゃいました。また、米山記念奨学生 段 安苗さま、ようこそ。これから宜しくお願ひいたします。)

飯塚大(段 安苗さん、ようこそいらっしゃいました。朝山様ようこそいらっしゃいました。)

田中(米山記念奨学生 段 安苗様平田クラブへようこそ。本日は平田高校おちらとトークへ出席のため早退します。申し訳ありません。)

杉原(米山記念奨学生 ダン アンミウさん、ようこそ平田 RC へお越しくださいました。)

土江(先般のクラブ活性化ワークショップ、大変お疲れ様でした。本日の報告会、宜しくお願ひ致します。)

佐藤(5月20日の新会員セミナー、大変お世話になりました。ロータリアンの心得が分かりました。)

4/22 例会分

多久和(4/29に国富コミセンにて NPO 法人ボイスプラスの体験イベントを行います。平田を拠点に不登校の子どもの表現力、コミュニケーションアップの活動を行っています。見学、ご支援大歓迎です。よろしくお願ひします。)

■ ■ ■ 例会プログラム ■ ■ ■

クラブ活性化ワークショップ報告

5/18(日) 13:00~ 米子コンベンションセンター

次年度職業奉仕委員会

委員長 大谷厚郎



演題「インパクトある奉仕活動とは」講師 直前国際ロータリー理事 佐藤芳郎氏 「ロータリーは好きですか」「ロータリーは楽しいですか」という問いかけから講話が始まりました。

「インパクトのある奉仕活動」のインパクトという言葉について、講師の佐藤さんはその定義を詳しくは説明されませんでした。一般的に「インパクト」といえば「刺激」とか「衝撃」というイメージがある中、辞書を引くと「影響」という意味もあります。この「影響」という意味が一番近いと私は思いました。

「インパクトある奉仕活動」は、すなわち「影響力ある奉仕活動」ということとなります。どこへ影響をもたらすかといえば、一つは、我々でいえばこの地域への影響力であり、奉仕活動を通じて地域から注目される、地域社会がロータリークラブに目置く、ロータリーが地域に認められる、ということにつながります。また、もう一つはクラブ自体への影響、クラブ会員自身への影響です。「ロータリーに観客席はない」という言葉も紹介されましたが、会員全員が奉仕活動に参加し、その素晴らしさを体験し、そして、ロータリーを好きになり、楽しさを感じる、そのことによりクラブ全体の活性化につながる。そして、そういったこと全体が会員の増強、新しい会員の入会につながる。

いろいろなお話はありましたが、端的に言うと、そういったことではなかったかなと思います。みなさん、ロータリーを好きになってください、ロータリーを楽しんでください。という結びでした。

次年度会員増強維持委員会

委員長 荒木克之



演題「クラブの活性化と会員増強」講師 2025-28年度 第2地域ロータリー会員増強コーディネーター若林英博氏、この方は東京麹町ロータリー所属で昨年度は150名の純増を達成したとのことでした。

会員増強は退会防止とセットで考えていく必要があるとのこと、その対策で、

実践されている3つの手法について紹介されました。(資料配布)

「戦略的なオープン例会の実施」を提案されています。

これは、会員候補となる方をあらかじめ決めたオープン例会に招待するというものですが、いつの例会においてよ！とただ誘うだけではなく、しっかりとこちら側が受け入れの準備をして、楽しい例会に参加してもらうことが大切とのこと。具体策として11の項目が挙げられていますが、複数の候補者を一同に集めたら参加する側も、心強いとか安心できるでしょうし、また我々としても全員が会員増強のためにまとまるので良いものだなと感じたところです。

次に「衛星クラブの設立」

ロータリーの一般的なイメージとして割と年配の方が多くか金がかかる、会社経営者といったところだと思いますが、この手法だとそうしたイメージは払拭できるかもしれません。具体的には、名前が示すとおり衛星ですから、平田を地球とすると月のようなクラブということになります。まず候補者が入会を躊躇する理由として、平日昼間の例会に参加しにくいということがあると思いますが、衛星クラブの場合だとそこに拘らず夜間開催の例会、オンライン、土曜日実施といったことも自主的に参加しやすい時間を決めれるので効果があるようです。また他クラブとの縄張り争いにもならないので、そうしたこともメリットになっています。会費負担もまた理由のひとつになるでしょうが、例会の会場だったり、食事を取らないといったことを考えて費用を抑えたり、また事務局を持たないことにより、事務局員も置かないことになるので、そうした経費を抑えることで会費を落としているそうです。実際に東京北部の2580地区では11の衛星クラブがあり、ここでは若手中心のクラブだったり、また女性中心のものだったり、色々な衛星クラブが活動しているようです。会費についても経費を落としたことで年10万円に抑えられ、前期5万円、後期5万円で会費納入され、会員の金銭的な負担を軽減する対策となっているようです。

衛星クラブとして活動するには、8名以上の会員がいること、月に2回の例会、会費納入とロータリーの雑誌購読が条件になっているので、ロータリーのイメージとは少し違ったものになるかなと感じました。ただ片方で会員の教育とかロータリアンとしてのあり方というものが、伝わりにくいとか、スポンサークラブとの繋がりに関しても疑問に感じたところです。

次に「クラブ独自の会員種を作る」(退会防止の面)

実践されていた例として、84歳以上、ロータリー歴20年以上、理事会で最終判断という条件でシニア会員を設けているところもあるそうです。この場合にも会費は年10万円にしていて、生涯ロータリアンとして在籍して頂きたいという思いから取り決められているそうです。また家族会員やWEB会員も紹介されました。家族会員とは、会員のご子息に他団体との接点が出る前に早い時点からクラブに馴染んでもらおうとするもの、WEB会員は転勤で離れる場合や離島の方などが対象になっているもので、それぞれのクラブの実情に合わせた会員種を作ること、退会防止を考えてみて欲しいということでした。

最後に講師さんから、嫌いな人から誘われて入会しますか？また魅力のない団体に入ろうと思いますか？といった言葉がありました。やはり大切なところは、個々の会員の地域の方々との関わり方、またクラブが地域にどのように認知されているかです。そして何より全員で会員増強に対する意識を持つこと、そのために楽しい例会であり、クラブの活動を実践していくことが大事とのこと。こうした貴重なお話を聞く機会を頂いたので、次年度は会長が目標とされている人数を超えて達成できるよう、微力ですが努めていきたいと思っております。